



Arts
Support
Kansai

アーツサポート関西 **ASK** PRESS RELEASE

2014.08.26

アーツサポート関西 初の支援が決定 「京阪神ビルディング文楽支援寄金」記者発表

主催：公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会

場所：生國魂神社 参集殿

リリースに関するお問い合わせ先：

公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会内 アーツサポート関西事務局 担当：宮隆啓／大島賛都

Email: ask@osaka21.or.jp, TEL: 06-7507-2004, FAX: 06-7507-5945

アーツサポート関西 ASK 初の支援 「京阪神ビルディング文楽支援寄金」が設立されました

アーツサポート関西（ASK）は、本年4月に発足して以来、民の力による関西の芸術・文化を盛り立てていく取り組みを行っております。その支援第1号として、この度「京阪神ビルディング文楽支援寄金」が設置され、文楽における若い人たちが関わる活動を支援していくこととなりました。

これは、関西を代表する伝統文化「文楽」をぜひ支援したいという京阪神ビルディング株式会社のお志によるもので、同社よりお申し出のあった500万円の寄付により、特定の団体支援が可能になる特定型個別寄金（※1）「京阪神ビルディング文楽支援寄金」を設置。今後2年間にわたり文楽における若い世代を対象とした活動を支援していくものです。

具体的には、特定非営利活動法人 人形浄瑠璃文楽座が取り組んでいる普及活動「そうだ、文楽に行こう!!!」に対し、今年度250万円を支出いたします。対象となる事業は、次世代を担う大学生、専門学校生など、のべ420人を国立文楽劇場で開催される文楽公演にワンコイン（500円）で招待し、開演直前のレクチャーを聞いた上で文楽を鑑賞し、より深い理解の下で文楽の世界の魅力に接し、楽しんでもらおうとするものです。

この「京阪神ビルディング文楽支援寄金」による支援の時期については、同社より、当初予定していた来年4月以降ではなく、今年度（平成26年度）中に執行してほしいという強い希望があったため、芸術・文化の専門家で構成されたASK評価・審査委員会、ASK運営のかじ取り役を担う運営委員会、さらに関西・大阪21世紀協会の理事会を順次開催して審議し、決定に至りました。

※1 「特定型個別寄金」とは：寄付者が好きな名称を冠した個別寄金を作り、特定の団体を指定して助成支援を行うことができるもの。希望の助成先についてはASK評価・審査委員会およびASK運営委員会がその適否の審査を行い、関西・大阪21世紀協会の理事会の承認を経て決定される。

「そうだ、文楽に行こう!!!」概要

- ◎主催： 特定非営利活動法人 人形浄瑠璃文楽座
- ◎場所： 国立文楽劇場
- ◎実施時期： 2014年11月～2015年1月にかけて14回実施（30人/回）
- ◎内容：
 - ・大学生、専門学校生のべ420人を国立文楽劇場の公演に招待
 - ・観劇当日開演前に芸芸員・技術職員・研究者らによる30分のレクチャーを実施
 - ・スマートフォン等で見られる映像コンテンツを用意。事前に文楽の基礎を理解してもらう

大学生や専門学校生をワンコイン（500円）で文楽公演に招待する。直前レクチャーで日本を代表する大阪発祥の伝統文化・文楽の魅力や鑑賞ポイントを解説し、より深い理解の下で文楽を鑑賞し、その魅力を体験してもらう。それにより日本の伝統的な文化体験を契機とした自己啓発の機会、および日本文化を自身の言葉で伝えることのできるグローバルな人材育成の場となることを目指す。

- ◎助成執行： 平成26年9月頃（予定）

リリースに関するお問い合わせ先：

公益財団法人 関西・大阪21世紀協会内 アーツサポート関西事務局 担当：宮隆啓／大島賛都
Email: ask@osaka21.or.jp, TEL: 06-7507-2004, FAX: 06-7507-5945

助成事業の詳細

直前レクチャー付き観劇会 「そっだ、文楽に行こう!!!」 ワンコインで文楽!?

◎企画趣旨

大阪で生まれ、大阪の庶民によって300年以上にわたり育まれ、いまなお大阪を拠点としている人形浄瑠璃文楽。ユネスコの世界遺産にも登録され、国内のみならず世界からも高い評価を受けている日本を代表する伝統芸能です。

長い歴史と伝統の中で守り伝えられてきた日本の財産を、私たちは将来にわたって確実に継承し、発展を図っていかねばなりません。

そこで、本事業は、これからの日本を背負って立つ次世代の若者を対象とし、文楽鑑賞の機会を作り、将来の鑑賞者拡大および育成のために、文楽発祥の地である大阪を含む関西圏の大学ならびに専門学校に通う学生を、文楽の本拠地である国立文楽劇場の文楽公演へ招待します。

この事業を契機に、日本独自の文化に触れることが自己啓発にも繋がることを体感して欲しいと思います。そしてこの経験を自身の言葉で情報発信できるグローバルな人材になることを期待します。

◎実施の方針

NPO文楽座では、文楽の鑑賞歴が浅い初心者の方々を対象に、これまでも直前レクチャー付き観劇会「そっだ、文楽に行こう。」を毎公演ごとに実施してまいりました。そのノウハウを生かして、本事業は、「そっだ、文楽に行こう 学生版」として企画、実施いたします。

観劇日の開演前にレクチャーを開催しますが、これはあくまでも観劇する演目についての解説が主となりますので、人形浄瑠璃文楽の全般に関する解説は、いつでも気軽にスマートフォンやパソコンでアクセスできるよう、別途インターネット上に映像コンテンツを用意し、事前に情報を提供していきます。

また、能動的な参加を促すため、参加費500円（ワンコイン）を負担してもらいます。

◎実施期間

- 募集要項 9月5日頃発表
- 募集 11月公演=9月中旬～9月末、1月公演=11月中旬～11月末
- 選定 11月公演=10月初旬に選定、通知、1月公演=12月初旬に選定、通知
- 招待する公演
2014年11月1日(土)～11月24日(休・月) 文楽11月公演の第1部、もしくは第2部
2015年1月3日(土)～1月26日(月) 文楽初春公演の第1部、もしくは第2部
※第1部=11時開演、第2部=16時開演

◎実施内容

- ・各大学、専門学校などへ募集要項の配布。申込者と個別に観劇日、レクチャー内容などを調整。
- ・観劇当日の開演前30分に文楽座技芸員または国立文楽劇場技術職員などによるレクチャーを実施。
- ・スマートフォン等からアクセスできる映像コンテンツにより、事前に文楽の基礎知識や情報を入手してもらえるようにする
- ・映像コンテンツは、NPO文楽座がYouTubeに専用のチャンネルを設けて配信。コンテンツは長くても5分程度とし、太夫・三味線・人形遣いの各解説、演目解説など、細分化して制作。

特定非営利活動法人（NPO 法人）人形浄瑠璃文楽座とは

平成 14 年、鳥越文蔵氏（早稲田大学名誉教授、元早稲田大学演劇博物館館長）を理事長に迎え「義太夫、三味線、人形の技芸を具体的に指導普及し、人形浄瑠璃の発展をはかり、わが国の文化振興に資することを目的」として、大阪府より特定非営利活動法人の認可を受け発足。現在では、文楽技芸員有志 50 名によって運営されている。平成 25 年、鳥越氏の名誉顧問就任と同時にドナルド・キーン氏（コロンビア大学名誉教授）が名誉顧問に就任。ユネスコの無形文化財である文楽の魅力をおよび多くの人々に伝えるため、日本各地の教育機関や公共施設などでの普及活動にも積極的に取り組む。特に文楽をより身近なものと感じてもらうための体験型の普及活動に力を入れている。

NPO 人形浄瑠璃文楽座

理事長 竹澤團七
理事 豊竹英大夫
理事 竹本三輪大夫
理事 鶴澤燕三

理事 吉田和生
理事 桐竹勘十郎
理事 吉田玉女
理事 吉田玉也

相談役 吉田簗助
相談役 吉田文雀
名誉顧問 ドナルド・キーン
名誉顧問 鳥越文蔵



文楽と浄瑠璃神社

生國魂神社の境内にある浄瑠璃神社には、近松門左衛門や竹本義太夫、豊沢団平ほか、人形浄瑠璃（文楽）の成立に尽力した「浄瑠璃七功神」をはじめとする文楽関係者、および女義太夫の物故者が祀られている。芸能上達の神として信仰を集め、上方文化と深い関係がある。建立は明治 9 年（1876）、文楽関係者による。毎年春分の日・秋分の日に例祭日として浄瑠璃祭が行われ、浄瑠璃関係者が多数参拝し、その発展と加護を祈願する。